



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年1月29日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 エイジス

コード番号 4659 URL <http://www.aiis-group.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 齋藤 昭生

問合せ先責任者 (役職名) 財務経理部長

(氏名) 西岡 博之

TEL 043-350-0567

四半期報告書提出予定日 平成28年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	16,159	10.6	1,235	131.0	1,259	120.8	801	157.3
27年3月期第3四半期	14,606	7.0	534	161.4	570	163.1	311	479.5

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 790百万円 (132.5%) 27年3月期第3四半期 340百万円 (246.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	173.75	—
27年3月期第3四半期	65.14	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第3四半期	11,461	8,688	75.4
27年3月期	12,855	9,006	69.8

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 8,637百万円 27年3月期 8,967百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	45.00	45.00
28年3月期	—	0.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	45.00	45.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	23,460	7.5	2,314	34.9	2,356	33.6	1,500	60.9	328.62

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P.3「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P.3「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年3月期3Q	5,385,600 株	27年3月期	5,385,600 株
28年3月期3Q	982,711 株	27年3月期	682,580 株
28年3月期3Q	4,612,937 株	27年3月期3Q	4,781,575 株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予測の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策を背景に円安・株高基調が継続し、個人消費や輸出が持ち直すなど緩やかな回復基調となりました。一方で、中国経済の減速をはじめとした海外景気に対する不安感および雇用環境の変化により人材採用が困難となり、先行き不透明な状況が続いております。

当社グループの主要顧客であります流通小売業界におきましては、消費者の節約志向や低価格志向の継続、さらに業種・業態を超えた企業の経営統合・再編の動きが増加しつつあり、依然厳しい経営環境が続いております。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①国内棚卸サービス

国内棚卸サービスにおいては、「収益力強化」を中期課題として位置づけ、前期より引き続き取り組んでまいりました。重点施策である棚卸閑散期の業容拡大および生産性の改善については、いずれも着実に成果が表れました。その結果、売上高は11,826百万円（前年同四半期比4.0%増）、セグメント利益は947百万円（前年同四半期比78.7%増）となりました。

②海外棚卸サービス

海外棚卸サービスにおいては、売上増加基調で推移しております。利益面では、前期より継続して取り組んでまいりました、経営幹部の現地化推進等により経営効率を改善し、黒字転換いたしました。その結果、売上高は1,541百万円（前年同四半期比25.4%増）、セグメント利益は69百万円（前年同四半期は118百万円の損失）となりました。

③リテイルサポートサービス

リテイルサポートサービスにおいては、売上増加基調で推移しております。売上高は2,790百万円（前年同四半期比39.1%増）、セグメント利益は214百万円（前年同四半期比79.8%増）となりました。

これらの結果から、当第3四半期連結累計期間における売上高は16,159百万円（前年同四半期比10.6%増）、営業利益は1,235百万円（前年同四半期比131.0%増）、経常利益は1,259百万円（前年同四半期比120.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は801百万円（前年同四半期比157.3%増）となりました。

当社グループの売上高の特徴として、国内棚卸サービスの閑散期である第1四半期連結会計期間および第3四半期連結会計期間の売上高は少なく、国内の主要な顧客であります流通小売業界の決算が集中する第2四半期連結会計期間および第4四半期連結会計期間は繁忙期となり売上高が多くなる傾向があります。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は11,461百万円（前連結会計年度比10.8%減）となりました。これは、主として第3四半期連結会計期間は閑散期につき売掛金が減少したことによるものです。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は2,773百万円（前連結会計年度比27.9%減）となりました。これは、主として閑散期による給与の未払金の減少および流動負債のその他に含まれる未払消費税等が減少したことによるものです。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は8,688百万円（前連結会計年度比3.5%減）となりました。これは、主として平成27年10月の公開買付けによる自己株式の取得によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間の業績経過は概ね計画通りの推移となっておりますので、現時点での通期の業績予想につきましては、平成27年10月29日に発表いたしました「平成28年3月期第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」に記載の業績予想と変更はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)及び
「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)
等を、第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額
を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更い
たしました。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定
による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方
法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更
を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、
四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び
事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点
から将来にわたって適用しております。

この変更による当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益、税金等調整前四半期純利益及び当第3四半期
連結会計期間末の資本剰余金への影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,269,420	3,894,688
受取手形及び売掛金	3,097,872	2,026,725
有価証券	100,000	100,000
商品	99,566	—
貯蔵品	46,584	56,205
その他	396,031	1,190,179
流動資産合計	9,009,474	7,267,798
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,276,394	1,276,394
その他(純額)	811,936	862,798
有形固定資産合計	2,088,331	2,139,193
無形固定資産	452,256	480,063
投資その他の資産		
その他	1,306,832	1,575,392
貸倒引当金	△1,408	△948
投資その他の資産合計	1,305,424	1,574,444
固定資産合計	3,846,011	4,193,701
資産合計	12,855,486	11,461,500
負債の部		
流動負債		
短期借入金	91,954	93,083
未払金	2,023,061	1,594,972
未払法人税等	334,336	177,665
賞与引当金	354,650	208,435
役員賞与引当金	14,875	15,944
その他	955,938	605,609
流動負債合計	3,774,815	2,695,710
固定負債		
退職給付に係る負債	5,208	1,260
その他	68,651	76,517
固定負債合計	73,859	77,778
負債合計	3,848,675	2,773,489

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	475,000	475,000
資本剰余金	489,665	489,936
利益剰余金	9,481,754	10,071,627
自己株式	△1,568,325	△2,463,303
株主資本合計	8,878,093	8,573,260
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	44,846	56,958
為替換算調整勘定	44,999	7,030
その他の包括利益累計額合計	89,845	63,989
非支配株主持分	38,871	50,761
純資産合計	9,006,810	8,688,011
負債純資産合計	12,855,486	11,461,500

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	14,606,084	16,159,243
売上原価	11,272,777	11,868,592
売上総利益	3,333,307	4,290,650
販売費及び一般管理費	2,798,443	3,055,235
営業利益	534,864	1,235,415
営業外収益		
受取利息	2,997	4,941
受取配当金	6,282	7,695
受取賃貸料	18,047	21,049
物品売却益	—	6,277
その他	23,488	16,846
営業外収益合計	50,815	56,810
営業外費用		
支払利息	1,338	1,079
賃貸費用	9,432	9,715
自己株式取得費用	—	18,272
その他	4,594	4,121
営業外費用合計	15,365	33,189
経常利益	570,314	1,259,036
特別利益		
投資有価証券売却益	—	44,356
特別利益合計	—	44,356
特別損失		
固定資産除却損	4,601	4,254
事業撤退損	—	49,080
特別損失合計	4,601	53,335
税金等調整前四半期純利益	565,713	1,250,057
法人税等	248,951	433,064
四半期純利益	316,761	816,992
非支配株主に帰属する四半期純利益	5,279	15,483
親会社株主に帰属する四半期純利益	311,481	801,509

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
四半期純利益	316,761	816,992
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5,431	12,112
為替換算調整勘定	17,913	△38,255
その他の包括利益合計	23,344	△26,143
四半期包括利益	340,106	790,849
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	334,200	775,652
非支配株主に係る四半期包括利益	5,906	15,196

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成27年8月20日開催の取締役会決議に基づき、公開買付により自己株式300,000株、894,600千円を取得しました。この自己株式の取得等により、当第3四半期連結会計期間末における自己株式は2,463,303千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	国内棚卸サービス	海外棚卸サービス	リテイルサポートサービス	合計
売上高				
外部顧客への売上高	11,370,982	1,229,334	2,005,768	14,606,084
セグメント間の内部売上高又は振替高	41,023	—	36,627	77,650
計	11,412,005	1,229,334	2,042,395	14,683,735
セグメント利益又は損失(△)	530,206	△118,321	119,077	530,962

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	530,962
セグメント間取引消去	3,901
四半期連結損益計算書の営業利益	534,864

II 当第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	国内棚卸サービス	海外棚卸サービス	リテイルサポート サービス	合計
売上高				
外部顧客への売上高	11,826,991	1,541,421	2,790,830	16,159,243
セグメント間の内部売上 高又は振替高	47,046	—	23,171	70,218
計	11,874,037	1,541,421	2,814,002	16,229,461
セグメント利益	947,514	69,173	214,146	1,230,833

2 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	1,230,833
セグメント間取引消去	4,581
四半期連結損益計算書の営業利益	1,235,415

以 上